

福岡工業大学 学術機関リポジトリ

Correlation between the English news writing and its announcing -A discours analysis on English news from Radio Japan, the overseas service of NHK

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-12-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 古明地, 勝美 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/11478/00001578

「ニュース英語原稿」と「英語アナウンス」の相互関係

——ラジオ日本、英語ニュースのディスコース分析——

古 明 地 勝 美 (社会環境学部)

Correlation between the English news writing and its announcing —— A discourse analysis on English news from Radio Japan, the overseas service of NHK

Katsumi KOMELI (Faculty of Social and Environmental Studies)

Abstract

Today many English broadcasts can be heard or watched everywhere in the world. It's often said good news text brings about good announcing and good announcing highlights the original text. I'd like to conduct an analysis on the radio text and also listen to its broadcast, finding what's been reported and how they are correlated. The news I'm going to analyze was broadcast on Oct. 2, 2004 from NHK World Service. It was read by a female announcer very effectively. Rising tones and falling tones in the sentences are employed nicely and key points are nicely presented. For example, in the news Ichiro broke the record, the announcer read it rather emotionally which tells the listeners the happy sentiment behind. Announcers should consider the intentions of news writers, and news-writers should think about the announcer's sentiment or emotional situations. In total, the good combination of news-writing and announcing brings about the effective broadcast.

Keywords: *English news writing, announcing, effective presentation, total effect*

1. はじめに

NHK のラジオ国際放送であるラジオ日本は短波放送で22の言語で放送されている上にインターネットで「オンデマンド」放送といって最新の放送原稿を見ることができ、放送を聴くことができる。このラジオ日本はいつでもどこでも聞ける放送として日本人のみならず、世界中の人々に聞かれている放送である。しかもその原稿がネット上で公開されているので放送を聴きながら目でも内容を確認することができる。

2. Ichiro Breaks the Record

2004年10月2日の正午のラジオの英語放送には5項目が入っていた。しかもトップニュースは *Ichiro Breaks the Record* というものであった。この日の日本人の大きな関心はアメリカ大リーグのシアトルマリナーズのイチローが257本目のヒットを打つかどうかに大きな関心が集まっていた。イチローはあっさりと3本のヒットを立て続けに打ち結局イチローはこの日260本を記録したのである。当然ニュースのトップはこのイチローの快挙であり次のように伝えていた。

Major League Baseball. The Seattle Mariners outfielder has broken the single-season hitting record.

Ichiro got a hit in the first inning and then another one in the third inning of Friday's game against the Texas Rangers. Ichiro now has 258 hits, breaking George Sisler's single-season record of 257 set in 1920.

Ichiro achieved the feat at the Mariners' home stadium, Safeco Field.

The Mariners have two more games, and the fans are still counting.

インターネットで聞いてみるとアナウンサーは女性であり、日本人であるが長期間アメリカに滞在したであろうと思われるアクセントが強くでている読み方であった。やや興奮気味に Japanese baseball star Ichiro Suzuki を強調して読んでいる。特に Ichiro Suzuki をゆっくりしかも強めて読んでいる。この文章の場合文頭に A とか The は普通つけない。Ichiro Suzuki が主語となるからである。時事英語とくに放送英語では簡潔にニュースを伝える必要があるので大きな形容語句はつけないのが普通である。まず最初の文章でニュースの大要を伝えてしまう。

Japanese baseball star Ichiro Suzuki has made history in Major League Baseball. がそれである。その後「誰がどうした、どういう展開になった」という内容を伝えることになる。

2番目の文章で特徴的なのは文頭と同じ固有名詞の使用を避けていることである。つまり Ichiro Suzuki といわないで、The Seattle Mariners outfielder といっている。これは時事英語の常道であり、なるべく同じ単語、言葉を近くで使用しないという原則に従っているのである。また2番目の文章の読み方は最初の文章より声を落として普通のしゃべりかたをしている。3番目の文章になるとアナウンサーは再びやや声のピッチをあげて Ichiro got a hit in the first inning and then another one in the third inning . . . と読んでいる。ここではイチローは1インニングと3インニングでそれぞれヒットを打ったことを内容情報として伝えているのである。さらにこのアナウンサーは強調して Ichiro now has 258 hits とイチローのヒット数をやや興奮気味に伝えている。アナウンサーは感情移入をしてはいけな一応いわれているが、最近では英米の放送を聞いても少なからず感情が移入されている。それは人間として自然なりアクションであり許されるアナウンス

技法となっている。このような数字が多くでてくるニュースでは数字は大きな意味を持つのではっきりとしかもややゆっくりと発音されなければならない。その点、この女性アナは極めて自然に滑らかに読んでいる。最後の文章は今後のイチローへの期待感をこめて The Mariners have two more games, and the fans are still counting. とゆっくりとアナウンスされた。これは非常に効果的な技法で聴取者に余韻と希望を与えてくれるものである。ここでこの女性アナはややポーズをとって次のニュース項目に向かう準備をしているようであった。案の定、次の項目は政治ニュースでいわゆる「かたもの」といわれるもので、スポーツのような「やわらかもの」の後には読みにくいものなのである。

3. G7 welcomes China's move toward floating yuan

Finance ministers and central bank governors of Group of Seven industrialized nations have agreed to try to stop any further rise in oil prices.

The G-7 officials announced their plan in a statement issued after hours of talks in Washington on Friday.

The statement calls on oil-producing nations to increase output. It also calls on oil-consuming nations to use energy more efficiently.

The G-7 officials held a two-hour special meeting with Chinese officials invited as guests in recognition of China's growing economy.

The G-7 officials said in a chairman's statement that their first meeting with the Chinese finance minister and central bank governor represents a historic step.

The statement said it is important for the world economy to let China's economy grow without generating inflation.

During Friday's talks, US officials, amid election-year politics, put pressure on China to float its currency off of its peg to the US dollar.

このニュースの項目のタイトルは G7 welcomes China's move toward floating yuan つまり「先進首脳国蔵相会議は中国の元の為替変動制への移行を歓迎する」というタイトルである。中国はかねてから世界経済の中で唯一とも言える高成長を享受していて、世界経済が喘いでるなかで中国のみが左団扇なのは不公平であるという見方が強かったのである。しかしニュー

スの中身を見てみると最初の文章は Finance ministers and central bank governors of Group of Seven industrialized nations have agreed to try to stop any further rise in oil prices. であり「先進国蔵相と中央銀行総裁はこれ以上の石油価格上昇を止めることで意見が一致した」という内容である。そして石油輸出国には増産を求め、消費国には節約をもとめる声明を出したというものである。こういうニュースはまさに感情を移入せずたんたんと読むのが常道である。この女性アナも先ほどのイチローのニュースとは大きく変えて、声を一段と落として低いトーンでたんたんと読んでいます。

このニュースの後半になってはじめて G7 首脳が、中国側と成長している中国経済について話したというパラグラフがでてくる。しかも Chinese finance minister and central bank governor represents a historic step. という文章がある。これは中国にとって新たな時代の幕開けになるかもしれないということが示唆されている。中国経済は成長しているがインフレをもたらしたら世界経済にとってもいい結果にはならないという含みがある。これは先進首脳国の懸念材料となる。最後の文章は興味深い意味を持っている。During Friday's talks, US officials, amid election-year politics, put pressure on China to float its currency off of its peg to the US dollar. の文章の中で amid election-year politics, という語句が挿入されている。これは11月2日の米大統領選挙を意味しブッシュ大統領の中国へのけん制とも受け取れる。中国はそろそろ為替変動制にして世界経済と自由競争をすべきだとアメリカは「選挙前なので」迫ったという内容なのである。「強いアメリカ」を標榜する米国としては経済でも大国中国にものを言えるのだという姿勢をしめたわけである。この文章の中で off of its peg とやや俗語めいた表現があるがこれは「ひっかかっているものからはずす」というくらいの意味で「中国の固定為替相場制」をはずすという意味合いになっている。

このニュースを見ていて感じたことはどうもニュース制作者 (ライター) は2つのちがった内容のニュースを合わせた感がある。前半は石油の話なのに後半は中国経済の話に転換している。こういうことはニュース現場ではよくあることである。短い時間に多くの内容を伝えたいとニュース担当者は思うものである。

4. Crude oil prices end over 50 dollars in New York

Crude oil prices have ended above 50 dollars a barrel for the first time in New York on Friday amid concerns over tight oil supplies.

The international benchmark West Texas Intermediate settled at a record 50 dollars and 12 cents a barrel on the New York Mercantile Exchange on Friday. It temporarily topped 50 dollars for the first time on Tuesday.

Market sources say that factors such as low domestic oil stocks in the United States could push up crude oil prices as demand for heating oil grows this coming winter.

このニュース項目は原油の高騰を伝えるものである。このニュースの最初の文章は Crude oil prices have ended above 50 dollars a barrel for the first time in New York on Friday amid concerns over tight oil supplies. というものであるが、この中の end という動詞は非常に便利で経済ニュースの中でしばしば使われる。いわゆる「終値」はどうであったかというときに、簡単な end を使用すればいいのである。どの項目にも共通することだが時事英語とくに放送英語では 5 W 1 H, つまり「いつ」「どこで」「何が」「だれが」「なぜ」「どのように」を出来るだけ多くしかも早い段階で伝えなければならない。必ずしもすべてのニュースに 5 W 1 H が入っているとはいえないが多くの場合6つの要素のいくつかが入れられているのである。この文章の場合、「いつ」に相当する on Friday と「どこ」に相当する in New York が入れられている。アナウンスする際、最初の文章で重要なのは「原油がいくらになったか」ということが重要なので数字の50が強調されなければならない。読んでいる女性アナも“50”の前で一瞬ポーズを入れて数字は一段と強調して読んでいます。後半に amid という前置詞があるがこれもニュース英語で多用される言葉である。「～という中で、～という状況下で」という背景説明をする際などに使われる。また tight oil supplies もしばしば経済ニュースに見られる語句である。「供給制限」という日本語より身近な用語で英語では表現することがニュースにおいてよくあるのである。

2番目の文書は1番目の文章をさらに詳しく説明している。The international benchmark West Texas Intermediate settled at a record 50 dollars and 12 cents a barrel on

the New York Mercantile Exchange on Friday. の中で「the New York Mercantile Exchange（ニューヨーク商品取引所）で原油取引の基準となっている West Texas Intermediate 社の取引値段で1バレル50ドル12セントを記録した」というものである。Benchmark は経済指標など基準となる数字を表現するのに多用される言葉である。

アナウンス上、留意するべき点は、固有名詞はややゆっくり読まなければならない。幸いこのニュースの女性アナはアナウンススピードを固有名詞の前で必ずスピードダウンしているので大変分かりやすい。

次の文章は It temporarily topped 50 dollars for the first time on Tuesday. であり、「一時的に火曜日に50ドルを越えたのははじめてであった」という意味であるが topped という動詞を使うのがこのような場合一般的である。時事英語とくに放送英語は耳で聞いて分かることが前提となるので、なるべくやさしい語句でニュースを伝えることになる。

最後の文章は Market sources say that factors such as low domestic oil stocks in the United States could push up crude oil prices as demand for heating oil grows this coming winter. Market sources. この中の Market sources とは「市場筋」あるいは「市場専門家」を指している。特定の人の言葉などが無い場合、あるいは意識的に避ける場合しばしば sources という便利な言葉が使用される。この文章のアナウンスを聞いてみると could という助動詞を強調している。現在形の文章の中に過去形をした could の使用は当然、仮定法過去であるから「～かもしれない」という仮定の話となるわけである。周知のように時事英語ではしばしば時制の一致はなく現在形の文章に過去形、仮定法過去などが挿入されるのが日常である。

次の5項目目のニュースは見出し風にいうと「イージス艦日本海に配置さる」とでもいうものである。

5. Aegis-equipped destroyer deployed in Japan Sea

The US Navy says it has begun deploying destroyers equipped with the Aegis advanced air defense system in the Japan Sea as part of a plan to protect against threats posed by North Korean missiles.

Navy Secretary Gordon England said on Friday that the

destroyer USS Curtis Wilbur capable of tracking ballistic missiles left the Yokosuka Naval Base, south of Tokyo, earlier this week.

It will be followed by the deployment of another Aegis-equipped destroyer in the Japan Sea next month.

All of this is according to a plan announced earlier this year to monitor North Korean ballistic missiles.

The US Defense Department also says that it plans to deploy an Aegis ship equipped with a Standard Three missile system capable of intercepting ballistic missiles.

最初の文章は The US Navy says it has begun deploying destroyers equipped with the Aegis advanced air defense system in the Japan Sea as part of a plan to protect against threats posed by North Korean missiles. であるが The US Navy says と簡単な動詞を使っている。disclosed とか released とか米海軍なので「もっと重々しい動詞では？」というのは事実と解離した議論である。誰でも、どんな聴取状況が悪い状態でも理解できることが必要条件なのでこの場合は says が最適なのである。the Aegis はややなじみの薄い言葉なのでアナウンスの際はゆっくりと発音されなければならない。posed という語もニュース英語で多用されるが、これは危険などが「もたらされた」状態を表している。次の文章は：Navy Secretary Gordon England said on Friday that the destroyer USS Curtis Wilbur capable of tracking ballistic missiles left the Yokosuka Naval Base, south of Tokyo, earlier this week. であるが米海軍長官の言及が on Friday にあったことが文章の早い段階で明らかにされている。これはニュース英語の一つの特徴といえる。USS は周知のことだが US-Ship を表している。ballistic missiles は軍事用語の弾道ミサイル。この直後に普通の文章では which が入るのが普通であるが、時事英語ではしばしば省略される。Yokosuka は読む際には日本語のように平坦に読むよりやや *ko* を強調して *yo-KO-suka* が一般的である。「日本語は日本語らしく」読むという議論もあるが、時として現実的ではない。ポイントは聴取者に分かってもらうことが肝要なので日本の固有名詞などはやや英米流に読むのが通例である。また the Yokosuka Naval Base, south of Tokyo, と書いてあるが横須賀は外国人にはどこにあるか分からないことが多いので海外向けニュースには、必ず東京との対比でその場所を特定しなければならない。

All of this is according to a plan announced earlier this year to monitor North Korean ballistic missiles. の文章の

中には according to a plan という挿入句が入っている。これはしばしばニュース英語で使われるものだが、不確実性を持つ内容の場合、「計画ではー」という表現をするわけである。ニュース報道で注意すべきは誤った内容を伝えてしまうことである。したがって不確実性を持つニュース内容などは慎重な言葉を使用するのである。またこのニュースには「配置」「配置する」という意味で deployment とか deploy という語を使用しているが本来は同じような語を多用しないのが原則だが特殊な言葉は例外として扱われる。その語句が最適な場合にはやや距離をおいて使用してもよいという原則があるのである。このニュースのアナウンスを聞いてみると実に淡々と感情をいれずに読んでいる。このようはいわゆる「かたもの」のニュースは感情をいれずに読むのが通例である。

6. Samarra has been seized by US-led forces

The Iraqi interim government says US-led forces have taken control of Samarra, central Iraq, after a full day of attacks on Sunni Muslim militants in the city.

The US attack began early on Friday morning in the city about one-hundred kilometers north of Baghdad.

US-trained Iraqi security forces supported the attack.

The minister of state for national security in the interim government, Mr Kassim Daoud, says more than one hundred insurgents were killed and 37 people were captured.

Mr Daoud said his government will do everything it can to clear all of Iraq of what he called criminals in order to continue reconstruction and hold general elections.

The Interim Health ministry says 21 Iraqi citizens and 35 other people were wounded in the attack.

US forces consider Samarra to be a bastion of Sunni militants loyal to ousted President Saddam Hussein.

最初の文章は The Iraqi interim government says US-led forces have taken control of Samarra, central Iraq, after a full day of attacks on Sunni Muslim militants in the city. であり、この中の US-led forces「アメリカ主導の軍隊」が Samarra, central Iraq, 「イラク中部のサマラ」を占領したというものであるが、イラクの都市名は日本の固有名詞同様、世界の人々には知られているとはいいがたいので central Iraq の挿入は不可欠である。Samarra などの読み方は大使館に問い合わせるとか、海外の放送、例えば BBC とか CNN でどのように発

音されているのかを参考にしたりして調べるのが通例である。現地の発音が BBC などと大きく違う場合があるが、その際には BBC などに近い発音にするのが無難であろう。聴取者は英語を理解する人々でありアラビア語にあまりに忠実であると聞きにくいことがあるからである。このニュースのアナウンサーも sa-MA-ra のように中央にアクセントを置いて読んでいたが、それが無難であろう。日本の新聞のカタカナ読みを見てもあまり参考にならないのである。

次の文章 The US attack began early on Friday morning in the city about one-hundred kilometers north of Baghdad. の中で about one-hundred kilometers north of Baghdad と書いてあるのは Samarra の位置をさらに鮮明にするために入れられている。この項目があることによって聴取者はその位置を頭に描きながらニュースを聞くことができるのである。

次の US-trained Iraqi security forces supported the attack という一文は政治的に大きな意味を持つ。これは「アメリカ」のみが攻撃したのではなくアメリカによって訓練されたイラク兵も攻撃に参加した事実があると、この記事を書いた人は強調したかったであろう。日本から外国のニュースを放送する場合、日本側の独自取材による情報源ともう一つは外国の通信社、報道機関から得た情報に基づいて記事を書く場合の2つがある。これは推察の域をでないが、この一文の場合、おそらく海外の通信社のニュースソースを使った可能性が大である。しかもそれは米国系の通信社であるかもしれない。今、世界はアメリカのイラクでの戦争行為に批判的である。アメリカは「アメリカのみが戦闘行為をしているのではない」と事とあるごとに強調する傾向にあるので、必然的にアメリカ系の通信社などはアメリカ政府寄りの報道をする傾向にあるのである。

次のセンテンスは：The minister of state for national security in the interim government, Mr Kassim Daoud, says more than one hundred insurgents were killed and 37 people were captured. であり、暫定政府大臣の Mr Kassim Daoud なる人物のコメントとして「100人以上の暴徒が殺害され37人が拘束された」というものである。これはこの人物のコメントであり、事実であるかどうかは別問題である。戦場のような場所での事実確認は実際不可能であり、それなりの責任者の言及を伝えるしか方法がないのである。米軍の発表があるとしたらまた違った数字が出てくるかもしれないが、この

種の数字はそのまま信じることは適切ではないのが普通である。ニュース報道の限界といってもいいであろう。

次の文章は：Mr Daoud said his government will do everything it can to clear all of Iraq of what he called criminals in order to continue reconstruction and hold general elections. であり再び Mr Daoud という固有名詞が登場している。これは彼の名前が特殊なものであり、一度読んだだけでは聞いている人に理解されにくいであろうという判断のもとに、He ではなく再び Mr Daoud と繰り返し使用しているのである。またこの文章の中で what he called という句が挿入されているがこれはニュース英語では良くあることであり、「いわゆる彼がいうところの」という意味で発言の責任などがその人のみにかかってくることを意味している。これは次に来る言葉がやや強烈で非難をよぶかもしれないものが多い。実際その言葉は criminals であり強烈な意味を持ち、ある人からは批判を招きかねない言葉である。このような言語を使う場合は慎重にならざるを得ず、どうしても使う場合には「だれそれの」言葉の引用として使うのが一般的である。責任回避とも受け取られるが報道はあくまで中立を旨としているのでこのような対応になるのである。

最後の文章は：US forces consider Samarra to be a bastion of Sunni militants loyal to ousted President Saddam Hussein. である。この文章は：US forces consider で始まっているので、アメリカの強い意志がここに見えるのである。しかも Samarra は追放されたサダムフセインに忠実な闘志の a bastion 「とりで」であると決め付けている。このようなアメリカの強硬な姿勢をみるとイラクでの真の戦闘終結は、はるかな道といわざるを得ない。この文章からしてもこのニュースの情報源はアメリカ系の通信社かそれと意思を通じている海外の通信社、報道機関であることが推察される。

7. まとめと考察

ニュースは日々刻々変わり同じニュースは当然のことながら存在しない。英語ニュースは簡単、明瞭で誰にでも分かりやすいことが第一とされる。しかしその陰で多くの人間がニュース原稿を推敲し膨大な情報の山の中から宝石を見つけるような作業をして生まれてきているのである。では日本から英語ニュースを発信

する場合、実際どのような手順がとられるのであろうか。まずニュース感覚と英語に長けた人間が初稿と呼ばれるニュースを書く。それを経験豊かなデスクと呼ばれる責任者が見て事実関係を勘案しつつまた書き手と相談しながら第二稿を仕上げる。それを英語のネイティブにチェックしてもらい英語の基本的な誤りを正す。最後は統括責任者がある原稿の妥当性、意義を総合判断し最終原稿としてニュース送出デスクに回す。そのデスクは他のニュースとの配列を考え、ニュースオーダーを決める。もう一度統括デスクが最終原稿とその配列を検討し、最後にアナウンサーに原稿が渡される。アナウンサーは渡された原稿をさっと一読し不明な語句、固有名詞の発音、また疑わしい箇所があればニュースデスクに問い合わせなどして、十分な「下読み」をする。10分ニュースであれば20分かけて最低2回は声を出して読んでみる。アナウンサーは1分前にはスタジオに入り、体制を整える。また緊急ニュースが放送ぎりぎりですべてはアナウンサーの両肩に責任がのしかかってくるのでアナウンス技術とともに人間性が問われる瞬間となる。「世界の人々にニュースをいち早くお伝えする」という使命感が必要となる。「よいニュース原稿は良いアナウンスの源、またよいアナウンスは原稿を金にする」と言う例えが報道現場で言われることがある。両者が最高のものを出し合っ

てよい放送が出来上がるのは事実である。

この日の英語ニュースは結果的に非常に効果的なプレゼンテーションとなっていたといえる。「Ichiro」のニュースではアナウンサーはやや興奮気味にその快挙を伝えていたし、「G7」のニュースでは淡々として表現ながら内容はしっかりと伝えられていた。[原油価格が50ドルを上回った] ニュースでは寒い冬を迎え灯油価格を心配する心情が言外に伝えられていた。おそらくライターはアナウンサーの性格、読み方、女性である点などを考慮して最終段階でどうしたらよりよい放送になるか考えて多少書き換えをして最終原稿を執筆したと思われる。一昔前は「ニュースは感情を移入せず、淡々と読むのが良い」とされていたが、時代ともにそれもやや変化しつつある。聴取者にとって聞きやすく、分かりやすいニュース、共感できるニュースへと変わりつつある。この日のニュースは結果的にはよいニュース、分かりやすいニュースとなっている。ニュース原稿とアナウンスは表裏一体であり、双方が

寄り添うことで最終プロダクトの良い実りを得られるのではなからうか。

日本は情報輸入の先進国であるが、情報輸出ではまだ開発途上にあるといわれている。今後さらに日本から信頼できる重要な情報、世界の情報を世界中に伝えていく必要がある。NHKの国際放送は地味ではあるが日々黙々と情報を発信する人間が多数働きその活動の根本は「日本のより良い理解のため」であり「世界への情報提供」である点今後ますます重要性を増すものと期待されるのである。

参考文献等

- 1) ラジオ日本 (NHK 国際放送) 2004年10月2日, 午後12時英語ニュース (日本時間) インターネット音声及び放送原稿
- 2) Progressive English Japanese Dictionary, Shogakukan, 1998
- 3) 小池直己「放送英語と新聞英語の研究」北星堂, 1998
- 4) The Concise Oxford Dictionary of Current English (Clarendon Press), 1995
- 5) The Random House dictionary of English Language. The Unabridged Edition (Random House), 1979